

人体病理学講座教授選考における基本方針

人体病理学講座の教授選考にあたっては、病理診断学を専門とし、品格と見識に優れた人物を希望します。本学附属病院の病理診断業務の管理ができ、国際的視野を持った臨床病理学的研究や病理学の教育と人材育成に寄与できる人物を求めます。

選考においては、自身の専門分野だけではなく、幅広い疾患の病理診断が出来ること、講座全体の統括ができること、学内の関係講座との連携を円滑に行えることなどを総合的に判断いたします。

なお、本学の分子病理学を専門とする病理学講座は、江幡正悟教授が主宰していることを申し添えます。